

◎ 羽生市立の小学校及び中学校の耐震診断結果を公表します

地震防災対策特別措置法第6条の2第2項の規定により、羽生市立の小学校及び中学校の耐震診断結果を公表します。

平成21年2月3日

羽生市長 河田 晃 明

◇ 羽生市の耐震化事業について【耐震化率100%】

平成7年に施行された「建築物の耐震改修に関する法律（耐震改修促進法）」により、現行の耐震基準（昭和56年）以前に建築された建築物について、耐震診断及び耐震改修に努めることが求められ、本市においても計画的に小・中学校の耐震化事業を進め、平成20年度に全校の耐震補強工事を完了しました。

県 平均	56.1%
全国平均	62.3%

◇ 耐震診断結果（I s 値、q 値）について

I s 値とは、建築物の耐震性能を判断するための数値（構造耐震指標）で、国土交通省では安全の目安として0.6以上としています。

なお、文部科学省では学校施設について、学校としての用途や兵庫県南部地震の被害状況調査結果を考慮し、耐震改修の目安としてI s 値を0.7以上としています。

q 値とは、建築物の保有水平体力に係る指標で、安全の目安として1.0以上としています。

I s 値 及び q 値	耐 震 性 能
(1) I s 値 < 0.3 又は q 値 < 0.5 の場合	大規模な地震に対して、倒壊又は崩壊の危険性が高い
(2) (1) 及び (3) 以外の場合	大規模な地震に対して、倒壊又は崩壊の危険性がある
(3) I s 値 ≥ 0.6 かつ q 値 ≥ 1.0 の場合	大規模な地震に対して、倒壊又は崩壊の危険性が低い

◇ 羽生市立小・中学校の耐震診断結果

学校名	種類	構造規模			耐震診断				耐震補強		
		建築年月	構造	面積 (㎡)	実施年度	診断法	Is値	q値	実施年度	Is値	q値
羽生北小学校	校舎(2号館)	S46.2	RC	2,696	H10	第2次	0.41	0.67	H12	0.83	1.37
羽生南小学校	校舎(2号館)	S52.3	RC	1,441	H09	第2次	0.99	2.23	耐震補強不要		
羽生南小学校	校舎(1号館)	S52.3	RC	2,835	H09	第2次	0.34	0.63	H10	0.83	1.03
羽生南小学校	屋内運動場	S52.10	S	974	H11	屋体	0.45	1.39	H13	0.84	1.52
新郷第二小学校	校舎	S56.3	RC	1,680	H10	第2次	0.97	1.37	耐震補強不要		
岩瀬小学校	校舎	S54.3	RC	3,256	H09	第2次	0.69	1.00	H10	0.75	1.23
井泉小学校	校舎(1号館)	S50.3	RC	2,770	H07	第2次	0.37	0.73	H08	0.72	1.30
井泉小学校	校舎(2号館)	S55.3	RC	998	H10	第2次	0.78	1.00	耐震補強不要		
井泉小学校	屋内運動場	S56.3	S	749	H18	屋体	0.18	0.57	H19	0.76	2.34
三田ヶ谷小学校	校舎	S53.4	RC	2,597	H09	第2次	0.46	1.10	H10	0.90	1.10
村君小学校	屋内運動場	S48.6	S	495	H18	屋体	0.10	0.19	H20	1.30	2.37
南中学校	校舎(2号館)	S54.12	RC	2,724	H10	第2次	0.59	0.83	H11	0.79	1.03
南中学校	校舎(1号館)	S54.12	RC	4,556	H10	第2次	0.56	0.37	H11	0.76	1.03
南中学校	屋内運動場	S55.3	S	1,489	H11	屋体	0.56	1.73	H19	1.25	2.27
東中学校	校舎(1号館)	S55.11	RC	3,865	H10	第2次	0.64	0.77	H12	0.76	1.27
東中学校	校舎(2号館)	S55.11	RC	2,714	H10	第2次	0.77	1.00	耐震補強不要		
東中学校	屋内運動場	S56.3	S	1,249	H11	屋体	0.66	2.03	H18	0.97	3.00

耐震診断の対象は、昭和56年8月以前の旧耐震基準で設計された建築物で、階数が2階以上又は床面積が200㎡を超えるもの(木造以外の場合)としています。また、登載の無い小・中学校は、建物の耐震化が完了しています。

建築物の構造で「RC」は鉄筋コンクリート造を、「S」は鉄骨造を示します。

耐震診断を「第2次」は第2次診断、「屋体」は屋内運動場等の耐震性能診断基準にて実施しました。

RC造のq値は、 $C_t \times S_d \div 0.3$ で換算しています。